4　学校教育目標具現化の全体構想

＜学校教育目標＞

美しく 賢く 強く 自分をひらいていく子供

＜目指す子供像＞

美しい子（徳）
人の気持ちが分かる子

賢い子（知）
よく考えて、進んで学ぼうとする子

強い子（体）
自らをきたえようとする子

＜本年度の重点目標＞

自他を大切にし、主体的に学び、高め合う子供の育成

＜学校運営の方針＞

(1)　認め励まし合う教育活動を通して自己有用感を高め、豊かな心を育む。
(2)　学習意欲を大切にし、関わり合いを深めながら、確かな学力を育成する。
(3)　心身共に健康な体づくりに、主体的に取り組む子供を育成する。
(4)　子供の学びと安全・安心を保障する学校づくりに努める。
(5)　家庭や地域、関係機関と連携した教育活動の充実を図る。
(6)　効果的な教育活動につながる働き方改革を推進する。

＜「徳」の目標＞
・明るい挨拶や返事をする子供
・思いやりの心をもって人に接する子供

思いやりの心の育成

＜「知」の目標＞
・自分を見つめ、主体的・対話的に学び合う子供
・学んだことを生かして取り組む子供

確かな学力の育成

＜「体」の目標＞
・進んで運動し、体力を高める子供
・健康・安全に気を付けて生活する子供

健やかな体の育成

＜本年度の行動目標＞

＜アクションプラン１＞
・相手の気持ちを考えた態度や言葉遣いをすることができたと評価する児童の割合が80%以上

＜アクションプラン２＞
・「もっと知りたい」「もっと分かりたい」「もっとやりたい」と思った授業があったと評価する児童の割合が80%以上

＜アクションプラン３＞
・休み時間に外で遊んだり、体を動かしたりする児童の割合が85%以上

＜本年度の研修主題＞

主体的・対話的に取り組み、仲間と共に自ら学ぶ子供の育成

～　みんなが「分かりたい・もっとやりたい」と思う授業を目指して　～

＜視点１＞
見通しをもち、問題意識や意欲を高めるための工夫

＜視点２＞
個に応じた学びと協働の学びの一体的な充実に向けた授業展開

＜視点３＞
自分を見つめ、次につなげる振り返りの場の充実